

# 常任委員会

## Q

## A

# 決算特別委員会

## Q

## A

### 総務委員会

開会日 9月29日(火)・10月5日(月)  
案件 議案4件・請願1件・報告8件

●豊島区議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例(一部改正)

問 昨年、都市宣言などを議決事件とする豊島区議会の議決すべき事件に関する条例を制定したが、この条例との関係は。

答 他区では、定期借地権について、財産の取得又は処分に関する条例とは別の条例で議決することとしているものもあるが、財産にかかわることであるので、この財産の取得又は処分に関する条例を改正することが適切と判断した。

### 区民厚生委員会

開会日 9月29日(火)・10月1日(木)・5日(月)  
案件 議案5件・陳情2件・報告10件

●豊島区印鑑条例(一部改正)

問 区民カード等はいつまで新規交付をするのか。  
答 住民基本台帳カードは27年12月、区民カードと印鑑登録証兼区民カードは28年3月で新規の交付を終了する。30年12月に証明書自動交付機は廃止を予定している。

問 個人番号カードの交付により印鑑登録証兼区民カードは回収するのか。  
答 両方のカードを持てるため回収はしない。

### 都市整備委員会

開会日 9月30日(水)  
案件 議案2件・陳情2件・報告4件

●豊島区立自転車等駐車場条例(一部改正)

問 有人管理における、例えば空気入れのような、ふれあいサービス等を検討してはどうか。  
答 有人管理の駐車場では、その良さを徹底していきたい。

問 無料時間設定のない区が多い中、無料時間を2時間に統一した本区の今後の料金体系は。  
答 この体系を継続していく。  
問 無料時間を統一するならば、3時間でよいのではないか。  
答 他区の調査の結果、無料時間は2時間のところが多い。

### 子ども文教委員会

開会日 9月30日(水)・10月2日(金)・14日(水)  
案件 議案2件・陳情3件・報告8件等

●豊島区立子どもスキップ条例及び豊島区立学童クラブ条例(一部改正)

問 「豊島区の学童クラブ利用時間の延長と利用料の改定」についての陳情  
答 利用料の改定内容は、上限額を子どもスキップは月額6000円、児童館は月額5000円に改める。

問 非常勤職員体制の背景は、放課後に勤務がたよるため、専門職員の短時間での勤務体制がふさわしいと考える。

### 総務費

●総合防災システムについて

問 構築に要した期間と経費は。  
答 平成26年から2年間で構築。費用は、構築に先行した基本計画と詳細設計、諸経費も含め全体で1億9千万円余。

問 今後の維持管理経費見込は。  
答 機器のリース代、回線の使用料等々加え5年間で3億3千万円余と考えている。

問 機器を5年間のリースにしている理由は。  
答 購入も考えたが、陳腐化する前に更新するため5年間のリースとした。

問 51台のカメラを設置して、駅前の状況などについて、世界の群衆行動解析機能を導入したことなどが今回の特徴と考えているが、効果と課題は。  
答 無線などによる通報に比べ、より目に見える形で素早く情報を収集・共有し、的確な対応の選択が可能。職員の習熟等が課題で、訓練を通し、全職員が一定の操作ができるようにしたい。

### 福祉費

●保育園待機児童対策について

問 区の待機児童数は。  
答 27年4月1日現在209名。

### 都市整備費

●子育てファミリー世帯への家賃助成制度

問 家賃助成を受けるために必要な要件は。  
答 児童とその扶養者が同居している世帯で、世帯の前年所得月額が26万8千円以下、区内への住みかえ家賃が15万円以下等。

### 土木費

●エコ街路灯への改修事業

問 エコ照明への転換の具体的な手法は。  
答 補助金等の関係からLED照明を主体にしつつも、従来のものと組み合わせる経費の削減に努める。

### 文化商工費

●スポーツ施設の整備について

問 今後の計画予定は。  
答 旧第十中跡地に、サッカーやラグビーに対応した野外スポーツ施設、旧朝日中跡地には、東部スポーツセンターを計画しているが、時期は未定である。

### 教育費

●魅力ある学校づくりについて

問 ハイパーQUとは。  
答 小学校5年生以上のすべての児童・生徒に実施し、学校に対する満足度等を簡単なアンケート調査から分析するもの。

問 いじめ・不登校者数は。  
答 いじめは、中学校では昨年に比半減し、不登校者数も大幅に縮減した。

### 国民健康保険事業会計

●医療費の抑制について

問 病気の早期発見、早期治療が医療費の抑制につながるが、

レセプト等からこの点の分析ができないか。  
答 今後、レセプト情報の分析結果を医療費の適正化につなげていきたい。

### 後期高齢者医療事業会計

●滞納率について

問 23区中滞納率が一番低いことについての分析は。  
答 制度開始当初から収納対策を行ってきた結果と考えている。

### 介護保険事業会計

●介護と医療の連携について

問 平成22年に介護と医療の関係者が連携を図っていくべきと提案したが、検討状況は。  
答 検討の会議体を持っており、最初の検討が徐々に形になりつつある。

### 決算特別委員会委員名簿

- ◎委員長 ○副委員長
- ◎河原 弘明 (自民党豊島区議団)
- 西山 陽介 (公明党)
- ふるぼう知生 (刷新の会)
- 小林 弘明 (無所属元気の会)
- 藤澤 愛子 (自民党豊島区議団)
- 松下創一郎 (自民党豊島区議団)
- 森 とおる (日本共産党)
- ふま ミチ (公明党)
- 芳賀 竜朗 (自民党豊島区議団)
- 星 京子 (自民党豊島区議団)
- 永野 裕子 (民主ネット)
- 儀武さとる (日本共産党)
- 島村 高彦 (公明党)
- 中島 義春 (公明党)
- 村上 宇一 (自民党豊島区議団)
- 里中 郁男 (自民党豊島区議団)
- 大谷 洋子 (民主ネット)
- 渡辺くみ子 (日本共産党)

### お詫び

本号の発行を平成27年12月1日に予定していましたが、記事の一部に誤りがあったため、発行が遅れましたことをお詫びいたします。